

中部地区

地区開催報告

中国地区

「8地区 joint FORUM」と「世界エイズデー in NAGOYA 2007」に参加して

谷 美保子<名古屋掖済会病院>

2007 年 12 月 1 日、8 地区 joint FORUM にあわせたリーフレット等の配布活動と世界エイズデーのイベントに初めて参加しました。

愛知県では名古屋駅と栄の 2 箇所で行なわれましたが私は名古屋駅の担当でした。

12 時 30 分頃より愛臨技事務所にて、リーフレット、絆創膏等の袋詰め作業を開始、500 名分詰めると聞いて頭はくらくら、でも皆様と力を合わせ作業も無事終わり、サー配るゾー！と意気込んだは良いけれど、なかなか、貰ってもらえませんでした。そこで私は、「ちょっと意味違うんじゃないの？」という、周りのささやきにもめげず、リーフレットも入っているしと、「絆創膏どうですか？」と配り続けたのです。そのせいか予定より早く配り終わりました。夕方 18 時 30 分からは、「世界エイズデー in NAGOYA 2007」のパレードに参加しました。わが愛臨技は、登りと横断幕を持つての行進です。パレードの中では一番目立って、道行く人の目を引いたと思います。技師会の宣伝に役立ったかな・・・、でも肩はバキバキ、足はくたくたでした。追悼集会にて、主催者の方が、今まで医療関係者の参加はあまりなかったけど、今年は臨床検査技師会から参加があり良かったというお話を聞き、「ちょっとだけ良いことをしたかなあー」と充実感を味わいました。

※ 12 月 1 日土曜日、晴天の中、中部地区は愛知県臨床衛生検査技師会会員の皆さんのご協力と東海インタービジョン(名古屋市中区栄)下の歩道とナギィ(名古屋市中村区名駅太閤通口)下の歩道で広報活動を行いました。
※ 当日、実務委員として参加された谷美保子技師に参加した感想を頂きました。 【高木義弘】



「エイズ予防啓発活動」 in 広島

広島鉄道病院 橋本 洋

暖かさを引きずり続けた異常気象は何処に、12 月 1 日、2 日は冬の到来を街頭で感じさせられた両日でした。



しかし、熱意に燃える(社)広島県臨床検査技師会有志たちは、防寒具と学識理論で身を固め、道行く老若男女にひたすら「エイズ」について語りかけ資料を配布し続け

たのでした。とは言え、広島市中心地八丁堀交差点も、休日早朝 9 時では人通りも少なく、ようやく暖かくなり始める 10 時すぎから好意的な方々に接する機会も増えてきたのでした。「先日までエイズ学会が広島で開催されていました。エイズ予防のための活動です。エイズ検査について解説してあります。怪我をされたらこの絆創膏をご利用ください。」と声をお掛けすると立ち止まり手を差し出され、活動の意義を感じさせていただくようにもなりました。ただ、頼りの街頭大型ビジョンの放映は 15 秒で、活動中、「・・・臨床検査技師会・・・」と耳にし、目を上げると既に終わっており、回数が少なくても、もう少し長ければ配布活動に活用できたのという思いがありました。また、管轄警察による街頭使用許可は得たのですが、のぼり、立て看板等の使用が認められなかったため、活動の主旨を踏み込んで伝えられなかった思いも残りました。活動していた場所から数百メートル離れた西新天地公共広場(アリスガーデン)では、広島県・広島市主催で広島カーブ選手を呼んでパンフレット配布やアマチュアミュージシャンの演奏などが行われており、事前に情報をつかんでいればリンクして活動を行うことで、より有効な活動と技師会の知名度を上げることができたのにと若干の悔みも残りました。



しかし、何はともあれ参加者一同全力投球(野球はカーブ)、自分たちにとっても大変有意義な時間でした。はるばる山陰島根から応援に駆けつけていただいた日臨技理事の下瀬洋一先生お疲れ様、ありがとうございました。次回は、もっと趣向を凝らして頑張ります。



※ この活動に参加した広島鉄道病院の橋本洋さんに感想を書いていただきました。

【下瀬洋一】



大型屋外 VISION 全国ネットワーク

- ◆ 今回の、大型街頭 VISION を用いた啓蒙活動は、費用対効果の大きい事業です。
- ◆ 次回は、どの地区どの町で展開するか・・・
- ◆ ご協力をお願いします。